



福井県立大学 創立20周年記念事業

九頭竜川 探求の旅 —ひと・歴史の〈つながり〉を求めて— 報告書

2013年3月

福井県立大学
九頭竜川プロジェクト

はじめに

本書は、福井県立大学20周年記念事業 特別講演会「九頭竜川探求の旅一人・歴史の〈つながり〉を求めてー」をとりまとめた報告書です。

本書の構成は、まず、九頭竜川プロジェクトの立ち上げの趣旨を述べた下谷学長の挨拶に始まり、次に、本書の中核をなす上記の主題に即した環境、歴史、民俗の各分野から3名の講師による講演内容の詳細記録および今後の取り組みの方向性を述べた「まとめ」からなります。

また、この特別講演会に参加された聴講者の皆さんのご協力を得て実施したアンケートの集計結果と自由意見についても本書に掲載しています。

今回の特別講演会は、福井県立大学20周年記念事業の一環として九頭竜川プロジェクトのキックオフとして開催したものです。講師の皆様には、快くお引き受けいただき、また、資料集および展示パネルの作成にあたりいろいろ細々した要望についてもご理解をいただき、誠にありがとうございました。お蔭様でオリジナリティのある資料集およびパネルに仕上がったのではないかと自負しています。

特別講演会は、県立大学白樺祭にあわせて開催した関係で、時間や会場の点で少々不安がありました。当時は多くの県民の方にご参加いただき盛会裏に終えることができました。皆様方からの感想もおおむね肯定的で、また、いただいたご貴重なご意見は、今後の取り組みに大変有益であると考えます。

九頭竜川プロジェクトが今後も持続的に展開するには、本学の役割は、一層重要で、その結び目の役割として支援・結節の拠点になることが期待されます。各界との連携を図りながらとり組まれることを念じています。

展示パネル等の作成にあたり、国土交通省福井河川国道事務所には、資料、写真等のご提供で多大なご協力をいただきました。

また、流域の各自治体、福井市、大野市、勝山市、あわら市、坂井市、永平寺町およびNPO法人ドラゴンリバー交流会の皆様には、本事業の後援をしていただきました。記して厚くお礼申し上げます。

2013（平成25）年3月

福井県立大学
九頭竜川プロジェクト

目次

はじめに

目次

特別講演会プログラム	1	
会場・アトリウムでのパネル展示風景	2	
講師プロフィール	3	
参考地図	4	
開会の挨拶	下谷 政弘 学長	5
講演			
1 サクラマスが教えてくれたこと	安田 龍司 氏	8
講演 1 スライド資料		15
2 歴史のなかの九頭竜川	松浦 義則 氏	20
講演 2 配布資料		35
3 川とのつき合い—技術と思い—	坂本 育男 氏	38
講演 3 スライド資料		34
講演 3 配布資料		37
質疑応答		40
まとめ	北條 蓮英 氏	42
まとめ スライド資料	(看護福祉学部教授)	46
聴講者のアンケート集計結果		49
展示パネルリスト		57
新聞報道		58
広報チラシ		61

特別講演会プログラム

10：00～10：10 開会挨拶

下谷 政弘 学長

10：10～10：40 講演1 サクラマスが教えてくれたこと

安田 龍司 氏 (サクラマスレストレーション代表)

10：40～11：10 講演2 歴史のなかの九頭竜川

松浦 義則 氏 (福井大学名誉教授)

11：10～11：40 講演3 川とのつきあい —技術と思い—

坂本 育男 氏 (元福井県立歴史博物館副館長)

11：40～11：50 質疑

11：50～12：00 まとめ

北條 蓮英 (看護福祉学部教授)

コーディネーター：津村 文彦 (学術教養センター准教授)

BGM 子龍 featuringエリ “セコイヤ”ほか

(素敵な宇宙船地球号 サウンドトラック&セレクション ユニバースから)

とき：2012年10月13日(土) 10：00～12：00

ところ：福井県立大学福井キャンパス

共通講義棟 L108 教室

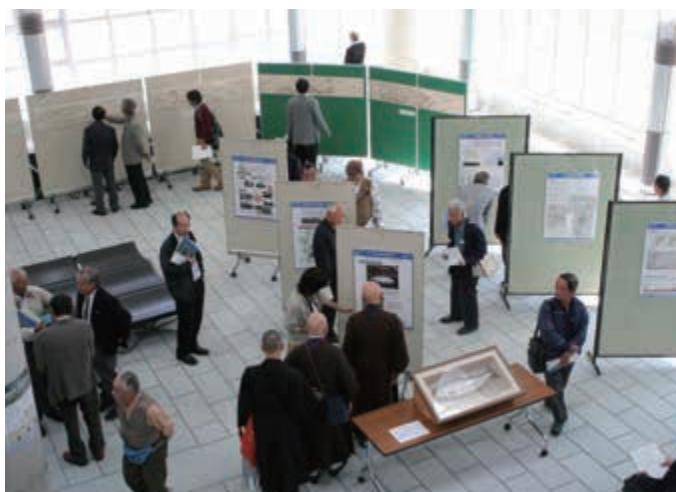
会場・アトリウムでのパネル展示風景



松平文庫絵図の越前三大川沿革図（九頭竜川）の
パネル展示（アトリウム）



あいさつをする学長と会場の模様（L108教室）



展示パネルを観覧する来場者のみなさん（アトリウム）



熱心に聴き入る会場の模様（L108教室）

講師プロフィール

安田 龍司 氏

サクラマス・レストラン代表。1963 年生まれ、名古屋市在住。日本を代表するフライ・フィッシャー。釣り番組や釣り雑誌の取材、執筆、釣り道具の開発、スクール講師など、全国の河川で活躍中。1980 年代より九頭竜川をホームリバーとし、多くのサクラマスと出会うが、サクラマスが自然再生産できにくい環境であることを知り、2008 年に釣り人による活動グループ「サクラマス・レストラン」を立ち上げる。産卵場の造成、発眼卵の放流、浚渫前の卵の救出など、九頭竜川産のサクラマスを増やすために、行政や漁協とも連携してさまざまな活動を行っている。また九頭竜川の源流のひとつである岐阜県の石徹白川の活動グループとも親交が深く、イベントや地元小学校の釣りクラブで講師を務める。

松浦 義則 氏

福井大学名誉教授。1946 年生まれ、福井市在住。
日本中世荘園史が専門で、若狭国太良荘の構造、戦国争乱期の白山麓地域をめぐる政治動向など、中世越前・若狭を対象にした研究が多数。『福井県の歴史』（山川出版社、2000 年）、『加賀・越前と美濃街道』（吉川弘文館、2004 年）ほか。本学の一般教育科目「日本史」を担当。

坂本 育男 氏

元福井県立歴史博物館副館長。1950 年生まれ、福井市在住。
福井県立博物館の開設準備に従事。開館後は福井県立博物館学芸員（民俗分野担当）として活躍。
福井県立若狭歴史民俗資料館副館長、福井県立歴史博物館総括学芸員、副館長などを歴任。越前海岸の筏利用、九頭竜川の漁撈のほか、福井県の民具、婚姻習俗、伝説などについて幅広く調査研究。

九頭竜川プロジェクト

下谷 政弘	学長（代表）
北條 蓮英	看護福祉学部 教授
津村 文彦	学術教養センター 准教授
杉田 晃一	参与
三嶋 善之	附属図書館 副館長
平森 康文	大学戦略室 主任

参考地図

